

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第1区分

【発行日】平成23年9月29日(2011.9.29)

【公開番号】特開2011-62136(P2011-62136A)

【公開日】平成23年3月31日(2011.3.31)

【年通号数】公開・登録公報2011-013

【出願番号】特願2009-215692(P2009-215692)

【国際特許分類】

C 12 N 15/09 (2006.01)

C 12 Q 1/68 (2006.01)

【F I】

C 12 N 15/00 Z N A A

C 12 Q 1/68 A

【手続補正書】

【提出日】平成23年8月10日(2011.8.10)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

以下(a)に記載のPCR産物の種類、及び、以下(b)に記載のPCR産物の種類を比較する工程を含む被検サルモネラの血清型を同定する方法であって、前記工程において比較したPCR産物の種類が一致したときに、被検サルモネラの血清型がSHであると判定される方法；

(a) 血清型がSHである対照サルモネラのゲノムDNAを鑄型とし、少なくとも下記(i)又は(ii)に記載のセットをプライマーセットとするPCRによって増幅されるPCR産物の種類であって、対照サルモネラに特異的なPCR産物の種類、及び

(b) 被検サルモネラのゲノムDNAを鑄型とし、(a)と同じセットをプライマーセットとするPCRによって増幅されるPCR産物の種類；

(i) 下記(1)から(3)に記載のセット

(1) 配列番号：9に記載の塩基配列を含むオリゴヌクレオチド、及び、配列番号：10に記載の塩基配列を含むオリゴヌクレオチドのセット、

(2) 配列番号：11に記載の塩基配列を含むオリゴヌクレオチド、及び、配列番号：12に記載の塩基配列を含むオリゴヌクレオチドのセット、

(3) 配列番号：13に記載の塩基配列を含むオリゴヌクレオチド、及び、配列番号：14に記載の塩基配列を含むオリゴヌクレオチドのセット、

(ii) 下記(1)から(4)に記載のセット

(1) 配列番号：1に記載の塩基配列を含むオリゴヌクレオチド、及び、配列番号：2に記載の塩基配列を含むオリゴヌクレオチドのセット、

(2) 配列番号：9に記載の塩基配列を含むオリゴヌクレオチド、及び、配列番号：10に記載の塩基配列を含むオリゴヌクレオチドのセット、

(3) 配列番号：11に記載の塩基配列を含むオリゴヌクレオチド、及び、配列番号：12に記載の塩基配列を含むオリゴヌクレオチドのセット、

(4) 配列番号：13に記載の塩基配列を含むオリゴヌクレオチド、及び、配列番号：14に記載の塩基配列を含むオリゴヌクレオチドのセット。

【請求項2】

PCRがマルチプレックスPCRである、請求項1に記載の方法。

【請求項3】

以下(1)、(5)から(7)に記載のいずれか1組のセット；

(1)配列番号：1に記載の塩基配列を含むオリゴヌクレオチド、及び、配列番号：2に記載の塩基配列を含むオリゴヌクレオチドのセット、

(5)配列番号：9に記載の塩基配列を含むオリゴヌクレオチド、及び、配列番号：10に記載の塩基配列を含むオリゴヌクレオチドのセット、

(6)配列番号：11に記載の塩基配列を含むオリゴヌクレオチド、及び、配列番号：12に記載の塩基配列を含むオリゴヌクレオチドのセット、

(7)配列番号：13に記載の塩基配列を含むオリゴヌクレオチド、及び、配列番号：14に記載の塩基配列を含むオリゴヌクレオチドのセット。

【請求項4】

請求項3の(5)から(7)に記載の3組のセット。

【請求項5】

請求項3の(1)及び(5)から(7)に記載の4組のセット。

【請求項6】

請求項3から5のいずれかに記載のセットを含むサルモネラの血清型判別用キット。

【請求項7】

血清型SHのサルモネラのゲノムDNAを鑄型とし、請求項3の(1)及び(5)から(7)からなる群より選択される少なくとも1組のセットをプライマーセットとするPCRによって増幅されるDNA断片。

【請求項8】

PCRがマルチプレックスPCRである、請求項7に記載のDNA断片。